

1. 学習項目
なんじなんぷん

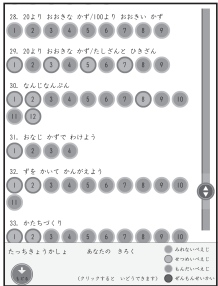
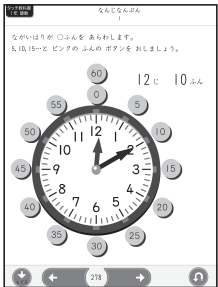
2. 本時の目標

- 時計の長針と短針を見て、1分単位の時刻を読み取ることができる。

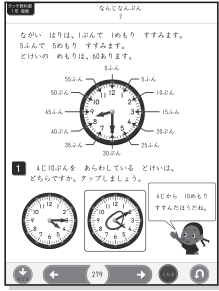
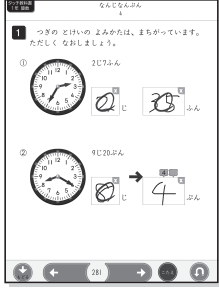
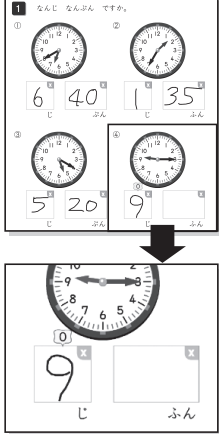
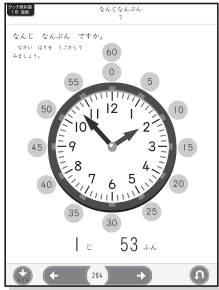
3. 本時の展開

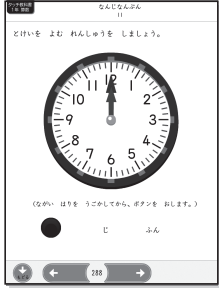
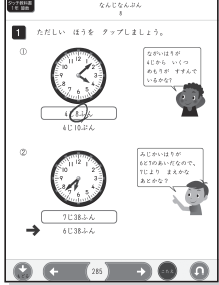
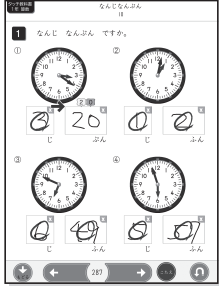
「たっちきょうかしょ」をこの学習で使うポイント

- ・タブレットを使って学習することにより、興味をもって学習に取り組むことができる。
- ・児童一人ひとりが、タブレット上の時計の針を動かして、時刻の読み方を確かめることができる。
- ・ペアになって時計の問題を出し合うことで、お互いの学習意欲を引き出し、理解が深まる。

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ	この学習は、タブレットを使って分針1分単位の時計の読み方の学習を進め、児童が問題を出し合うことで、理解を深めていくことを目標にしています。		
	 スタート画面  きろく	「時計の読み方は、前に“〇時”や“〇時半”と読むことを学習しましたね。」 「今日はもっと細かく“〇時〇分”と、時計をきちんと読めるようになるために、タブレットを使って学習します。」 「それでは、たっちきょうかしょの【きろく】をタップして、30の2をタップしましょう。」	「タブレットを使うのは楽しみだな。」
見通しをもつ	 P.278 10のボタンをタップしたところ	「(278ページの) 時計は今、何時を表していますか？」 「長い針の読み方を学習します。ピンク色の5、10、15…のところをタップしましょう。」 「長い針が1の所に来たときは、何分ですか？ 2の所に…、3の…。」 「そうですね。では、5、10、15…、60と声に出して3回言って覚えましょう。」	「12時です。」 「針も一緒に動いて、何時何分か数字が出るね。」 「長い針は、細かい目盛り1つが1分だから、数字の1の所は5分、2の所は10分…。」 「あ、これは12時10分です。」 「5、10、…、60、5、10、…、60、5、10、…、60。」

memo

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
見通しをもつ	 P.279 解答後答え合わせをしたところ	「では、下にある 右矢印ボタン をタップして、次の279ページに進みます。下の問題をしましょう。4時10分を表しているのは、どちらですか。タップしましょう。」 「タップしたら、右下の こたえあわせボタン をタップしましょう。」 「丸つけをしたあとは、 こたえボタン になるのでタップしてみましょう。」	「279ページの上には、今学習したことが書いてあるね。」 「細かい1目盛りが1分だから、10分は…こっち。」 「合ってた!」 「 こたえボタン で答えを確かめられるね。」
	 P.281 解答後答え合わせをしたところ	「できた人は280ページから283ページの問題をやってみましょう。」 「青い線の四角の中には、指で数字を書きます。正しく、ていねいに書きましょう。」	「すごい! 指で書いた数字が、上にきれいな数字で出るよ!」
	 P.282 書き順が違ったので、9が0と認識されたところ	「できましたか?」 「では284ページに進みます。」	「数字の書き順・書き方を間違えると、ちゃんとちゃんと出ないね。」 「 ×ボタン を押すと数字を消して、やり直せるよ。」
考える	 P.284 1時53分に合わせたところ	「ここまでは5分ずつの読み方を練習しました。ここからは、1分ずつの読み方の学習です。」 「284ページの赤色の長い針を動かしてみましょう。」 「では、今から先生が言う時刻に時計を合わせてください。12時36分。」 「1時53分」「〇時〇分」… 「よくできました。では、下にある 右矢印ボタン を4回タップして、288ページに進みましょう。」 「今度は、隣の人と交代で問題を出し合います。問題の出し方は2通りです。」	「赤い針がグルグル回るよ。」 「青い短い針もちゃんと動くよ。」 「指を離すと、下に時刻がでるね。」 「できた!」 「下に時刻が出るから、合っているかどうかすぐ分かるね。」 「よーし、難しい問題を出すぞ。」 「がんばるぞ～」 「やった! 正解!」

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
考える	 P.288	「1つ目は、自分が考えた時刻、例えば“12時28分に合わせてください”と隣の人に問題を出して、隣の人は言われた時刻に時計を合わせます。合わせられたら、下の青いボタンをタップして確かめます。」 「2つ目は、自分の時計をある時刻に動かして、“これは何時何分でしょう”と隣の人に問題を出します。隣の人が答えを言ったら、下の青いボタンをタップして確かめます。」 (3～4人程度の班でさせてもよい。) 「先生が合図するまで、2通りの問題の出し方で、何度も交代して問題を出し合ひましょう。」	「右下のやりなおしボタンをタップすると、パッと12時に戻るから、便利だね。」  
確かめる	 P.285 解答後答え合わせをしたところ  P.287 解答後答え合わせをしたところ	「はい、問題の出し合いはそこまで。」 「では、今日学習したことを確かめる問題しましょう。下の左矢印ボタンで285ページにもどって、285ページから287ページまでをやってみましょう。」 「青い線の四角の中には、指で数字を書きましょう。」 「こたえあわせボタンをタップして、答え合わせもしてみましょう。」	「もっとやりたかった～!」 「よーし、どんどんやるぞ。」 「今日学習したことだから、すぐ分かったよ。」 「あ、メモリをよく見ると、21分だ。×ボタンで消して、書き直そう。」 「全部正解したよ。」
まとめる		「今日はどんなことを学習しましたか?」 「タブレットを使って学習したので、みんな一人ひとり、時計の読み方がよく分かりましたね。これからも算数の学習をがんばりましょう。」	「時計の読み方を学習しました。」 「細かいメモリの読み方も分かったので、どんな時刻でも読めるようになりました。」 「タブレットを使うと、答えがすぐに確かめられるので、たくさん問題を出し合えてよく分かるようになりました。」

memo